

利 用 上 の 注 意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成18年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

なお、生産・出荷・在庫率指数は12か月を平均した指数、四半期別の指数は3か月を平均した指数であり、在庫指数は年末・期末の指数です。

3 その他

（1）本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「○年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」は「1～3月期（末）」、「4～6月期（末）」、「7～9月期（末）」、「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「－」・・・該当がないもの 「△」・・・マイナス（比較減）

「X」・・・数値が秘匿されているもの

（2）業種分類、採用品目数等

「神奈川県工業生産指数について」（P85～P94）を参照してください。

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 —生産指数は前年比△1.0%と2年連続して低下—

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、91.8で前年比1.0%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比2.6%低下し4期連続して低下、II期は同2.4%上昇、III期も同3.2%上昇、IV期は同0.5%低下しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、106.2で前年比4.8%上昇し、4年連続して上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.6%上昇し2期連続して上昇、II期も同1.3%上昇、III期も同1.3%上昇、IV期も同2.1%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、98.0で前年比2.2%上昇し、4年連続して上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比1.0%低下し2期ぶりに低下、II期は同1.2%上昇、III期も同0.5%上昇、IV期も同1.3%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、90.0で前年比3.2%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比3.0%低下し4期連続して低下、II期は同1.8%上昇、III期も同3.4%上昇、IV期は同0.7%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、80.9で前年末比0.7%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期末比0.6%上昇し4期連続して上昇、II期は同7.3%低下、III期は同8.0%上昇、IV期は同0.2%低下しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産・出荷指数（季節調整済指数）は、I期、IV期は低下、II期、III期は上昇しました。在庫指数（同）は、I期、III期は上昇、II期、IV期は低下しました。

また、生産指数（原指数）の前年同期比ではI期、II期は低下、III期、IV期は上昇しました。出荷指数（同）ではI期、II期は低下、III期は横ばい、IV期は上昇しました。在庫指数（同）の前年同期末比ではII期を除いて各期とも上昇しました。

県内の工業生産は2年連続して低下し、輸送機械工業や情報通信機械工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産は各期ともに上昇しており、特にIV期は12年基準で最高となるなど、総じて上昇傾向で推移しました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

(指数)

図1 製造工業指数の四半期別推移

(平成12年=100 季節調整済指数)

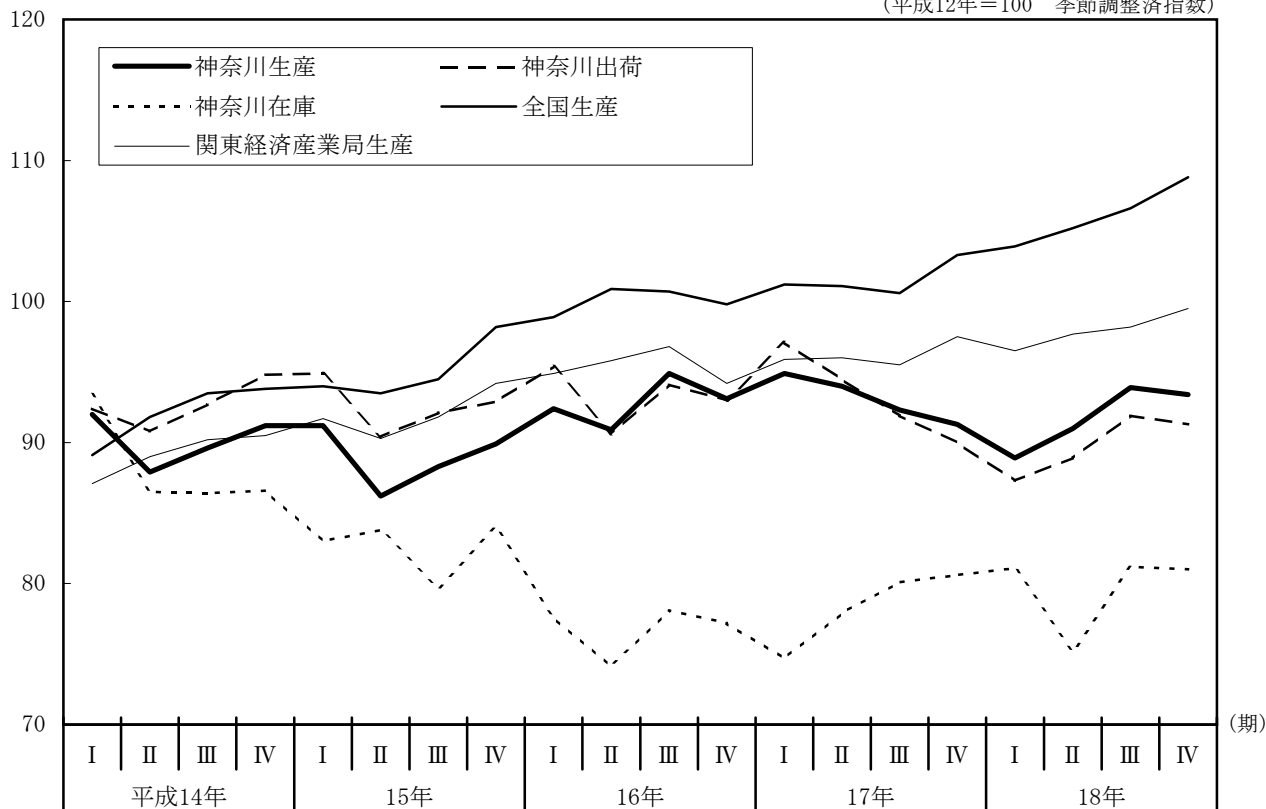


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成12年=100)

		平成14年	15年	16年	17年	18年	18年			
							I	II	III	IV
神奈川県 生産	指数	90.3	88.9	92.9	92.7	91.8	88.9	91.0	93.9	93.4
	対前年(期)増減率%	△ 5.2	△ 1.6	4.5	△ 0.2	△ 1.0	△ 2.6	2.4	3.2	△ 0.5
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 6.3	△ 3.2	1.7	2.3
出荷	指数	92.7	92.6	93.3	93.0	90.0	87.3	88.9	91.9	91.3
	対前年(期)増減率%	△ 3.3	△ 0.1	0.8	△ 0.3	△ 3.2	△ 3.0	1.8	3.4	△ 0.7
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 10.1	△ 5.9	0.0	1.4
在庫	指数	83.3	81.3	75.5	80.3	80.9	81.1	75.2	81.2	81.0
	対前年(期)末増減率%	△ 10.2	△ 2.4	△ 7.1	6.4	0.7	0.6	△ 7.3	8.0	△ 0.2
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	8.6	△ 3.5	1.4	0.5
全国 生産	指数	92.0	95.0	100.2	101.3	106.2	103.9	105.2	106.6	108.8
	対前年(期)増減率%	△ 1.3	3.3	5.5	1.1	4.8	0.6	1.3	1.3	2.1
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	2.7	4.1	6.0	5.3
関東経済産業局管内 生産	指数	89.2	91.9	95.5	95.9	98.0	96.5	97.7	98.2	99.5
	対前年(期)増減率%	△ 4.7	3.0	3.9	0.4	2.2	△ 1.0	1.2	0.5	1.3
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	0.6	1.8	2.8	2.1

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少した輸送機械工業（前年比 7.5%低下）や、パーソナルコンピュータなどが減少した情報通信機械工業（同 6.0%低下）など12業種が低下しました。

また、コネクタなどが増加した電子部品・デバイス工業（前年比 15.4%上昇）など6業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少した輸送機械工業（前年比 10.1%低下）や、デジタル・カラー複写機などが減少した一般機械工業（同 5.9%低下）など12業種が低下しました。

また、モス型半導体集積回路（論理素子）などが増加した電子部品・デバイス工業（前年比 26.0%上昇）など6業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、超硬工具や装軌式トラクタなどが増加した一般機械工業（前年末比 24.0%上昇）やモス型半導体集積回路（論理素子）などが増加した電子部品・デバイス工業（同 68.6%上昇）など11業種が上昇しました。

また、普通トラックなどが減少した輸送機械工業（前年末比 52.0%低下）など7業種が低下しました。

（P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照）

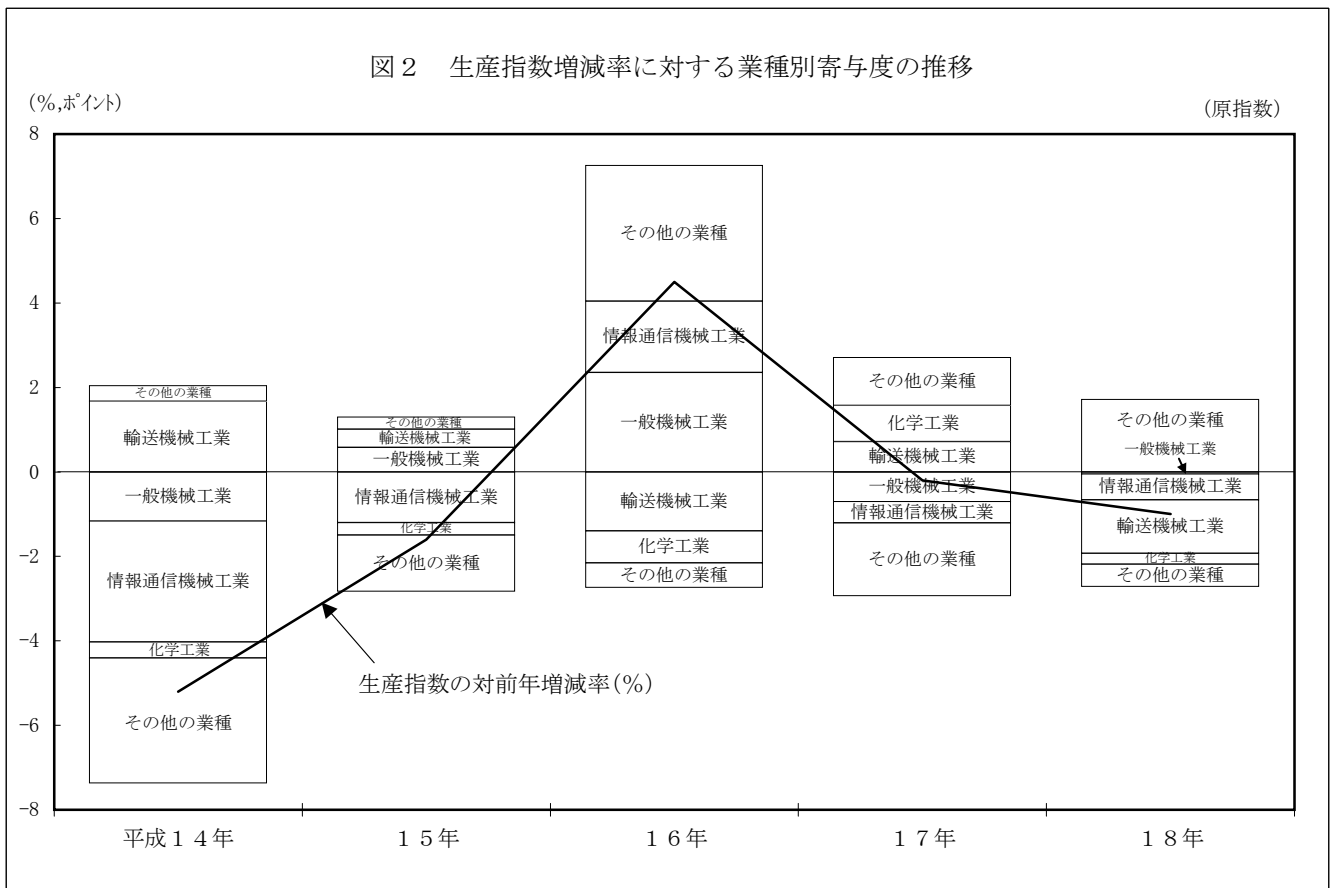


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 91.8 対前年増減率 $\Delta 1.0\%$ 上昇6業種、低下12業種

業種	対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
			増	減
上 昇	電子部品・デバイス工業 15.4	1.07	増	コネクタ、モス型半導体集積回路(論理素子)、線形半導体集積回路など
			減	磁気テープ、パッシブ型液晶素子、混成集積回路など
昇	金属製品工業 7.2	0.30	増	ガス機器、飲料用アルミ缶、ばねなど
			減	橋りょう、ベンディングロール成型鋼管、食缶など
低 下	非鉄金属工業 13.2	0.25	増	光ファイバ、伸銅製品、ダイカストなど
			減	銅電線、通信用電線・ケーブル、軽合金鋳物
低	輸送機械工業 $\Delta 7.5$	$\Delta 1.27$	増	普通トラック、けん引車、フォークリフトトラックなど
			減	小型乗用車、普通乗用車、乗用車ボデーなど
下	情報通信機械工業 $\Delta 6.0$	$\Delta 0.61$	増	はん用コンピュータ、無線応用装置、外部記憶装置など
			減	パーソナルコンピュータ、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど
下	化学工業 $\Delta 1.5$	$\Delta 0.26$	増	医薬品、身体洗浄剤、カラー映画用フィルムなど
			減	化粧品、カラーロールフィルム、エチレングリコールなど
下	一般機械工業 $\Delta 0.3$	$\Delta 0.05$	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、真空ポンプ、超硬工具など
			減	デジタル・カラー複写機、水管ボイラ、圧延機械など

(2) 出荷 年指数 90.0 対前年増減率 $\Delta 3.2\%$ 上昇6業種、低下12業種

業種	対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
			増	減
上 昇	電子部品・デバイス工業 26.0	1.15	増	モス型半導体集積回路(論理素子)、コネクタ、線形半導体集積回路など
			減	磁気テープ、整流素子、パッシブ型液晶素子など
昇	金属製品工業 14.0	0.36	増	ガス機器、飲料用アルミ缶、ばねなど
			減	橋りょう、ベンディングロール成型鋼管、食缶など
低 下	輸送機械工業 $\Delta 10.1$	$\Delta 2.51$	増	普通トラック、けん引車、小型バスなど
			減	小型乗用車、普通乗用車、乗用車ボデーなど
低	一般機械工業 $\Delta 5.9$	$\Delta 0.80$	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、超硬工具、真空ポンプなど
			減	デジタル・カラー複写機、装軌式トラクタ、圧延機械など
下	情報通信機械工業 $\Delta 9.3$	$\Delta 0.79$	増	はん用コンピュータ、外部記憶装置、端末装置など
			減	パーソナルコンピュータ、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど
下	石油・石炭製品工業 $\Delta 6.9$	$\Delta 0.50$	増	潤滑油、ジェット燃料油、アスファルトなど
			減	ガソリン、A重油、軽油など
下	化学工業 $\Delta 2.8$	$\Delta 0.33$	増	医薬品、身体洗浄剤、カラー映画用フィルムなど
			減	カラーロールフィルム、エチレングリコールエーテル、化粧品など

(3) 在庫 年指数 80.9 対前年末増減率 0.7% 上昇11業種、低下7業種

業種	対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
			増	減
上 昇	一般機械工業 24.0	4.62	増	超硬工具、装軌式トラクタ、ポンプなど
			減	圧縮機、掘さく機械、ダイヤモンド工具など
昇	電子部品・デバイス工業 68.6	2.59	増	モス型半導体集積回路(論理素子)、モス型半導体集積回路(CCD)、線形半導体集積回路など
			減	光電変換素子、混成集積回路
昇	食料品・飲料工業 21.0	1.37	増	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、ビスケット類、あめ菓子など
			減	チョコレート、炭酸飲料、清涼飲料(炭酸飲料除く)
昇	金属製品工業 20.9	0.35	増	ガス機器、一般缶、18リットル缶
			減	超硬チップ、食缶、石油機器など
低 下	化学工業 1.3	0.24	増	カラーロールフィルム、ポリプロピレングリコール、界面活性剤など
			減	カラー印画紙、ポリエチレン、ノルマルパラフィンなど
低	輸送機械工業 $\Delta 52.0$	$\Delta 8.53$	増	自転車、小型乗用車、普通乗用車
			減	普通トラック、小型トラック、大型バスなど
下	情報通信機械工業 $\Delta 5.3$	$\Delta 0.26$	増	液晶テレビ、コードレスホン
			減	ビデオカメラ、ビデオテープレコーダ

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成12年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		15年	16年	17年	18年	15年	16年	17年	18年	15年	16年	17年	18年	15年	16年	17年	18年
製 造 工 業	指 数	88.9	92.9	92.7	91.8	92.6	93.3	93.0	90.0	81.3	75.5	80.3	80.9	93.3	106.7	106.1	97.0
	対前年増減率%	△ 1.6	4.5	△ 0.2	△ 1.0	△ 0.1	0.8	△ 0.3	△ 3.2	△ 2.4	△ 7.1	6.4	0.7	△ 7.9	14.4	△ 0.6	△ 8.6
鉄 鋼 業	指 数	99.5	107.4	107.1	109.2	103.1	112.0	108.3	108.2	89.9	100.9	111.3	114.1	92.7	91.5	102.8	103.2
	対前年増減率%	0.0	7.9	△ 0.3	2.0	1.1	8.6	△ 3.3	△ 0.1	2.6	12.2	10.3	2.5	△ 1.2	△ 1.3	12.3	0.4
非鉄金属 工 業	指 数	77.1	81.3	100.5	113.8	73.1	77.5	82.3	93.5	62.7	74.4	64.0	57.9	83.4	83.2	103.8	80.2
	対前年増減率%	△ 2.9	5.4	23.6	13.2	△ 2.5	6.0	6.2	13.6	1.3	18.7	△ 14.0	△ 9.5	△ 15.3	△ 0.2	24.8	△ 22.7
金属製品 工 業	指 数	73.1	78.6	72.5	77.7	70.6	73.3	65.8	75.0	49.6	45.1	37.8	45.7	58.2	56.3	59.0	47.7
	対前年増減率%	△ 2.4	7.5	△ 7.8	7.2	4.7	3.8	△ 10.2	14.0	△ 9.0	△ 9.1	△ 16.2	20.9	△ 19.5	△ 3.3	4.8	△ 19.2
一般機械 工 業	指 数	86.2	100.6	96.1	95.8	87.2	101.6	97.1	91.4	85.7	85.7	98.7	122.4	95.7	70.8	72.5	79.2
	対前年増減率%	4.4	16.7	△ 4.5	△ 0.3	7.1	16.5	△ 4.4	△ 5.9	△ 6.7	0.0	15.2	24.0	△ 11.5	△ 26.0	2.4	9.2
電気機械 工 業	指 数	82.6	88.0	72.3	69.7	80.5	79.0	64.6	64.5	77.6	63.5	69.4	70.7	105.5	218.2	208.1	96.8
	対前年増減率%	△ 2.5	6.5	△ 17.8	△ 3.6	△ 2.3	△ 1.9	△ 18.2	△ 0.2	△ 10.7	△ 18.2	9.3	1.9	0.6	106.8	△ 4.6	△ 53.5
情報通信 機械工業	指 数	66.5	78.5	74.7	70.2	65.3	74.4	67.6	61.3	114.3	47.9	43.5	41.2	139.0	219.2	197.1	218.6
	対前年増減率%	△ 11.6	18.0	△ 4.8	△ 6.0	△ 8.5	13.9	△ 9.1	△ 9.3	11.7	△ 58.1	△ 9.2	△ 5.3	10.9	57.7	△ 10.1	10.9
電子部品・ デバイス工業	指 数	64.5	87.4	92.4	106.6	77.5	82.9	77.2	97.3	23.5	30.3	30.6	51.6	33.1	31.8	48.8	55.4
	対前年増減率%	△ 1.2	35.5	5.7	15.4	△ 4.0	7.0	△ 6.9	26.0	△ 36.0	28.9	1.0	68.6	△ 46.8	△ 3.9	53.5	13.5
輸送機械 工 業	指 数	112.3	103.7	108.3	100.2	120.1	108.9	117.1	105.3	82.1	101.2	127.2	61.0	61.7	65.1	79.7	64.4
	対前年増減率%	2.5	△ 7.7	4.4	△ 7.5	1.2	△ 9.3	7.5	△ 10.1	10.5	23.3	25.7	△ 52.0	△ 16.8	5.5	22.4	△ 19.2
精密機械 工 業	指 数	107.1	106.8	96.0	98.3	116.5	115.0	121.5	131.7	26.3	27.4	25.0	29.1	34.3	25.0	22.4	22.8
	対前年増減率%	5.3	△ 0.3	△ 10.1	2.4	1.1	△ 1.3	5.7	8.4	△ 68.4	4.2	△ 8.8	16.4	△ 61.1	△ 27.1	△ 10.4	1.8
窯業・土石 製品工業	指 数	87.8	81.2	77.5	77.0	87.9	82.2	79.2	78.7	72.6	52.4	50.5	57.4	83.8	84.0	63.4	67.2
	対前年増減率%	△ 4.5	△ 7.5	△ 4.6	△ 0.6	△ 6.4	△ 6.5	△ 3.6	△ 0.6	△ 3.3	△ 27.8	△ 3.6	13.7	△ 2.3	0.2	△ 24.5	6.0
化学工業	指 数	98.7	94.4	99.4	97.9	98.1	94.9	100.6	97.8	100.9	96.4	105.0	106.4	119.7	119.7	117.6	119.9
	対前年増減率%	△ 1.7	△ 4.4	5.3	△ 1.5	△ 1.7	△ 3.3	6.0	△ 2.8	△ 0.8	△ 4.5	8.9	1.3	△ 2.7	0.0	△ 1.8	2.0
石油・石炭 製品工業	指 数	105.2	100.1	103.7	96.9	89.2	86.0	89.3	83.1	127.6	118.8	106.7	102.3	128.5	133.3	117.7	120.6
	対前年増減率%	5.8	△ 4.8	3.6	△ 6.6	4.3	△ 3.6	3.8	△ 6.9	51.0	△ 6.9	△ 10.2	△ 4.1	14.9	3.7	△ 11.7	2.5
プラスチック 製品工業	指 数	92.6	83.9	77.9	72.5	95.3	87.5	81.2	76.1	84.8	66.8	61.3	60.5	93.8	85.1	84.5	78.8
	対前年増減率%	0.9	△ 9.4	△ 7.2	△ 6.9	0.6	△ 8.2	△ 7.2	△ 6.3	△ 3.4	△ 21.2	△ 8.2	△ 1.3	△ 4.9	△ 9.3	△ 0.7	△ 6.7
紙・紙加工品 工 業	指 数	87.7	93.8	94.1	96.0	85.8	91.1	89.1	92.0	53.4	80.7	82.0	70.5	88.9	79.0	97.8	85.5
	対前年増減率%	△ 0.6	7.0	0.3	2.0	△ 0.5	6.2	△ 2.2	3.3	△ 29.8	51.1	1.6	△ 14.0	△ 24.0	△ 11.1	23.8	△ 12.6
繊維工業	指 数	76.6	72.5	71.9	67.3	70.0	68.9	66.4	61.6	122.8	122.3	116.6	109.5	156.3	158.3	133.2	135.7
	対前年増減率%	△ 3.9	△ 5.4	△ 0.8	△ 6.4	△ 12.1	△ 1.6	△ 3.6	△ 7.2	111.0	△ 0.4	△ 4.7	△ 6.1	50.9	1.3	△ 15.9	1.9
食料品・ 飲料工業	指 数	94.2	97.1	100.0	99.8	97.6	99.5	103.1	103.4	86.0	93.2	86.1	104.2	108.5	104.2	97.8	98.0
	対前年増減率%	△ 7.7	3.1	3.0	△ 0.2	△ 3.7	1.9	3.6	0.3	△ 13.5	8.4	△ 7.6	21.0	△ 13.5	△ 4.0	△ 6.1	0.2
その他工業	指 数	97.0	102.4	102.9	100.1	99.1	103.4	99.9	95.7	83.0	75.3	72.5	82.6	95.6	78.7	79.4	89.0
	対前年増減率%	6.1	5.6	0.5	△ 2.7	6.1	4.3	△ 3.4	△ 4.2	△ 17.6	△ 9.3	△ 3.7	13.9	△ 14.8	△ 17.7	0.9	12.1
ゴム製品 工 業	指 数	103.7	105.0	107.5	106.6	104.3	104.7	102.1	99.1	97.9	105.9	100.2	113.3	107.2	100.1	111.5	118.3
	対前年増減率%	5.0	1.3	2.4	△ 0.8	4.2	0.4	△ 2.5	△ 2.9	△ 14.7	8.2	△ 5.4	13.1	△ 12.3	△ 6.6	11.4	6.1
家具工業	指 数	83.2	96.9	93.5	86.7	85.7	100.2	94.2	86.8	63.4	35.2	36.0	42.4	80.4	50.6	37.2	50.5
	対前年増減率%	9.5	16.5	△ 3.5	△ 7.3	12.2	16.9	△ 6.0	△ 7.9	△ 22.8	△ 44.5	2.3	17.8	△ 19.0	△ 37.1	△ 26.5	35.8
公 益 事 業	指 数	124.2	110.8	114.0	111.3	102.3	104.8	107.6	111.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	21.4	△ 10.8	2.9	△ 2.4	2.1	2.4	2.7	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	86.0	93.6	91.6	90.0	92.8	94.5	92.8	88.1	75.5	67.2	76.0	74.1	85.1	110.6	111.4	95.9
	対前年増減率%	△ 0.6	8.8	△ 2.1	△ 1.7	0.0	1.8	△ 1.8	△ 5.1	△ 4.9	△ 11.0	13.1	△ 2.5	△ 10.7	30.0	0.7	△ 13.9

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P85 業種分類参照)

表 4

平成18年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成12年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	88.9	91.0	93.9	93.4	87.3	88.9	91.9	91.3	81.1	75.2	81.2	81.0	95.2	93.4	104.4	97.8
	対前期増減率%	△ 2.6	2.4	3.2	△ 0.5	△ 3.0	1.8	3.4	△ 0.7	0.6	△ 7.3	8.0	△ 0.2	△ 7.8	△ 1.9	11.8	△ 6.3
鉄 鋼 業	指 数	104.1	106.4	113.8	111.7	103.2	103.9	111.1	113.0	108.7	113.0	117.9	116.0	106.3	106.7	102.1	97.0
	対前期増減率%	2.7	2.2	7.0	△ 1.8	2.9	0.7	6.9	1.7	△ 4.6	4.0	4.3	△ 1.6	△ 3.6	0.4	△ 4.3	△ 5.0
非鉄金属 工 業	指 数	110.1	126.5	110.0	108.3	92.6	102.0	90.8	88.4	59.9	59.0	57.0	53.4	78.7	83.3	83.0	76.4
	対前期増減率%	19.4	14.9	△ 13.0	△ 1.5	21.7	10.2	△ 11.0	△ 2.6	1.0	△ 1.5	△ 3.4	△ 6.3	△ 11.7	5.8	△ 0.4	△ 8.0
金属製品 工 業	指 数	72.8	79.8	80.0	82.3	71.1	74.7	75.5	80.9	43.8	44.8	46.4	47.6	45.9	47.8	49.4	47.8
	対前期増減率%	△ 2.0	9.6	0.3	2.9	8.2	5.1	1.1	7.2	15.0	2.3	3.6	2.6	△ 21.4	4.1	3.3	△ 3.2
一般機械 工 業	指 数	91.1	98.4	98.1	97.6	88.1	92.9	93.5	93.4	95.2	99.1	112.6	117.1	72.7	74.2	83.6	86.1
	対前期増減率%	△ 1.2	8.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 6.5	5.4	0.6	△ 0.1	1.3	4.1	13.6	4.0	1.0	2.1	12.7	3.0
電気機械 工 業	指 数	69.9	68.1	68.0	72.6	65.0	63.5	62.4	67.2	67.2	59.9	61.9	69.8	96.9	104.0	98.4	92.9
	対前期増減率%	△ 1.1	△ 2.6	△ 0.1	6.8	4.8	△ 2.3	△ 1.7	7.7	△ 1.6	△ 10.9	3.3	12.8	△ 48.1	7.3	△ 5.4	△ 5.6
情報通信 機 械 工 業	指 数	69.4	66.9	78.3	67.2	58.5	57.0	72.7	57.1	34.6	35.5	35.1	47.8	168.5	200.9	295.6	297.0
	対前期増減率%	△ 0.7	△ 3.6	17.0	△ 14.2	△ 5.9	△ 2.6	27.5	△ 21.5	△ 35.7	2.6	△ 1.1	36.2	△ 8.5	19.2	47.1	0.5
電子部品・ デバイス工 業	指 数	100.9	102.8	108.0	114.5	94.6	96.8	96.6	101.4	51.5	41.9	50.3	51.7	62.9	43.8	56.4	57.7
	対前期増減率%	3.0	1.9	5.1	6.0	15.9	2.3	△ 0.2	5.0	66.1	△ 18.6	20.0	2.8	32.1	△ 30.4	28.8	2.3
輸送機械 工 業	指 数	96.4	98.1	103.4	101.8	100.9	102.7	107.8	108.8	111.1	74.8	84.9	48.9	88.1	64.7	63.7	47.0
	対前期増減率%	△ 6.9	1.8	5.4	△ 1.5	△ 5.1	1.8	5.0	0.9	5.7	△ 32.7	13.5	△ 42.4	3.9	△ 26.6	△ 1.5	△ 26.2
精密機械 工 業	指 数	95.5	98.8	100.1	97.9	128.4	131.1	132.1	133.3	22.4	26.7	27.1	27.4	20.2	21.6	28.5	22.1
	対前期増減率%	△ 1.4	3.5	1.3	△ 2.2	△ 0.3	2.1	0.8	0.9	△ 4.3	19.2	1.5	1.1	△ 7.8	6.9	31.9	△ 22.5
窯業・土石 製 品 工 業	指 数	79.4	76.5	75.7	76.4	79.7	79.4	77.3	78.5	55.8	54.2	56.0	59.9	64.2	63.1	66.4	76.3
	対前期増減率%	3.5	△ 3.7	△ 1.0	0.9	△ 0.3	△ 0.4	△ 2.6	1.6	8.1	△ 2.9	3.3	7.0	△ 3.2	△ 1.7	5.2	14.9
化学工業	指 数	99.7	93.6	99.5	98.2	99.1	95.3	98.3	98.2	111.6	102.4	109.1	111.7	122.5	114.6	121.6	121.8
	対前期増減率%	1.5	△ 6.1	6.3	△ 1.3	△ 0.6	△ 3.8	3.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 8.2	6.5	2.4	△ 1.9	△ 6.4	6.1	0.2
石油・石炭 製 品 工 業	指 数	99.0	93.8	100.6	93.4	84.6	79.1	86.4	81.6	108.4	111.6	109.3	99.3	119.9	123.0	123.6	115.4
	対前期増減率%	△ 4.1	△ 5.3	7.2	△ 7.2	△ 5.6	△ 6.5	9.2	△ 5.6	0.5	3.0	△ 2.1	△ 9.1	1.5	2.6	0.5	△ 6.6
プラスチック 製 品 工 業	指 数	75.6	73.1	70.6	70.1	79.4	76.7	74.3	73.4	60.8	61.0	59.3	61.2	79.2	77.5	78.5	80.2
	対前期増減率%	△ 3.0	△ 3.3	△ 3.4	△ 0.7	△ 1.4	△ 3.4	△ 3.1	△ 1.2	△ 2.6	0.3	△ 2.8	3.2	△ 7.0	△ 2.1	1.3	2.2
紙・紙加工品 工 業	指 数	99.3	99.9	92.8	92.7	97.1	105.0	84.5	83.3	101.5	70.0	77.6	78.7	92.1	67.9	88.1	93.6
	対前期増減率%	2.6	0.6	△ 7.1	△ 0.1	4.4	8.1	△ 19.5	△ 1.4	11.3	△ 31.0	10.9	1.4	1.7	△ 26.3	29.7	6.2
繊維工業	指 数	67.2	64.9	66.2	70.6	64.3	57.3	62.9	62.2	72.2	84.1	82.7	78.1	119.4	145.0	154.5	124.1
	対前期増減率%	△ 14.7	△ 3.4	2.0	6.6	△ 13.2	△ 10.9	9.8	△ 1.1	△ 17.7	16.5	△ 1.7	△ 5.6	17.1	21.4	6.6	△ 19.7
食料品・ 飲料工業	指 数	100.0	98.6	100.6	101.2	103.1	103.1	103.9	104.5	99.3	99.3	109.5	117.4	91.3	92.2	105.8	103.3
	対前期増減率%	△ 1.9	△ 1.4	2.0	0.6	△ 3.2	0.0	0.8	0.6	1.6	0.0	10.3	7.2	△ 5.0	1.0	14.8	△ 2.4
その他工業	指 数	96.9	101.3	102.7	100.5	91.5	96.3	99.3	96.4	76.2	78.4	79.7	82.3	87.4	83.0	90.6	95.3
	対前期増減率%	△ 2.2	4.5	1.4	△ 2.1	△ 3.4	5.2	3.1	△ 2.9	5.4	2.9	1.7	3.3	7.1	△ 5.0	9.2	5.2
ゴム製品 工 業	指 数	101.2	105.8	108.9	110.7	93.4	98.2	102.5	103.0	104.2	108.7	111.8	116.4	119.3	110.9	117.8	125.6
	対前期増減率%	△ 4.9	4.5	2.9	1.7	△ 4.6	5.1	4.4	0.5	1.3	4.3	2.9	4.1	9.2	△ 7.0	6.2	6.6
家具工業	指 数	88.2	88.0	89.3	83.2	86.5	88.4	90.4	82.4	39.7	38.8	37.2	39.0	46.6	46.8	55.7	52.0
	対前期増減率%	0.9	△ 0.2	1.5	△ 6.8	△ 1.9	2.2	2.3	△ 8.8	20.7	△ 2.3	△ 4.1	4.8	11.2	0.4	19.0	△ 6.6
公 益 事 業	指 数	111.3	112.2	108.4	112.4	112.0	111.5	110.1	111.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 2.6	0.8	△ 3.4	3.7	3.9	△ 0.4	△ 1.3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	86.4	88.8	92.8	91.8	84.2	86.8	91.3	89.7	74.2	65.3	72.1	71.7	93.4	92.0	106.7	98.9
	対前期増減率%	△ 3.2	2.8	4.5	△ 1.1	△ 3.6	3.1	5.2	△ 1.8	1.1	△ 12.0	10.4	△ 0.6	△ 12.0	△ 1.5	16.0	△ 7.3

*生産・出荷・在庫率は3か月平均（3か月平均比）、在庫は期末（期末比）

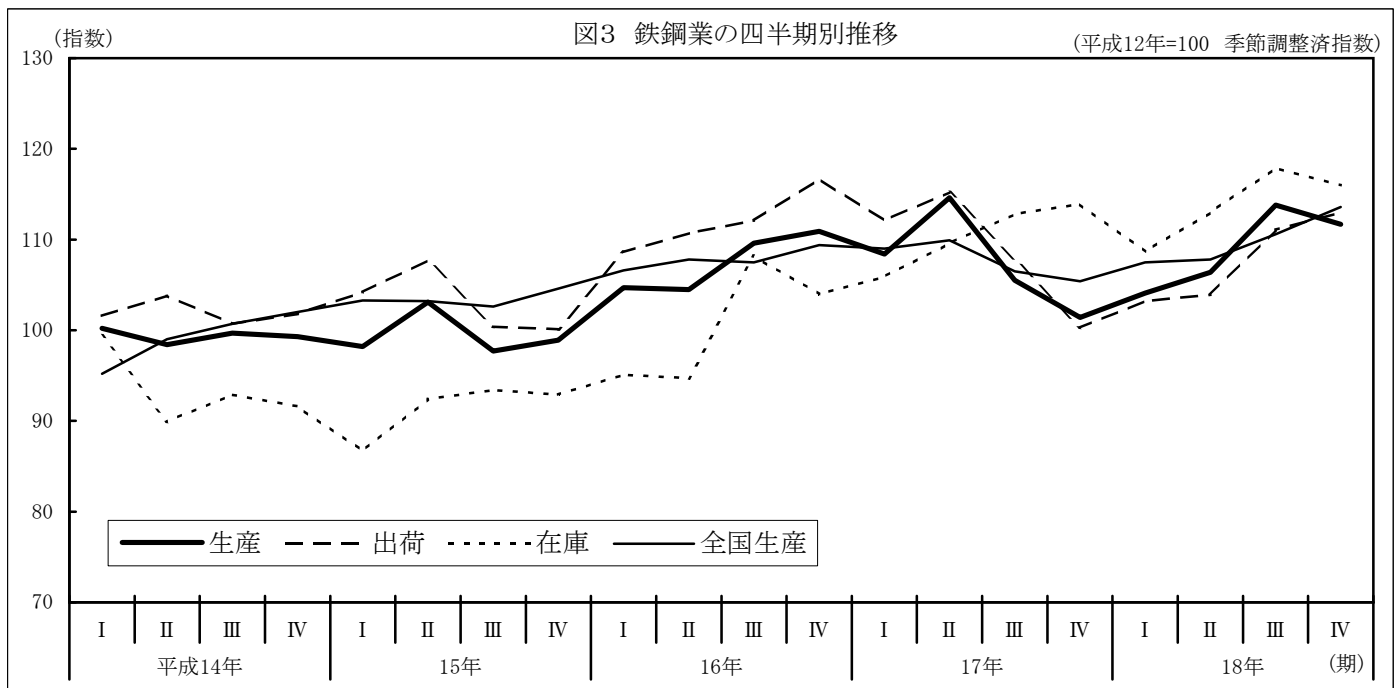
*公益事業、機械工業は参考系列（P85 業種分類参照）

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<鉄鋼業>

－生産は2年ぶりの上昇、出荷は2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、109.2で前年比2.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.7%上昇、II期も同2.2%上昇、III期も同7.0%上昇、IV期は同1.8%低下しました。

品目別にみると、普通鋼鋼帯や鋼半製品などが増加し、鉄系鍛工品などが減少しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数(原指数)は、109.9で前年比2.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、108.2で前年比0.1%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.9%上昇、II期も同0.7%上昇、III期も同6.9%上昇、IV期も同1.7%上昇しました。

品目別にみると、鉄系鍛工品や特殊鋼冷間仕上鋼材などが減少し、特殊鋼熱間圧延鋼材などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、114.1で前年末比2.5%上昇し、4年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比4.6%低下、II期は同4.0%上昇、III期も同4.3%上昇、IV期は同1.6%低下しました。

品目別にみると、普通鋼鋼帯や特殊鋼鋼管などが増加し、鋳鋼品などが減少しました。

表5 鉄鋼業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

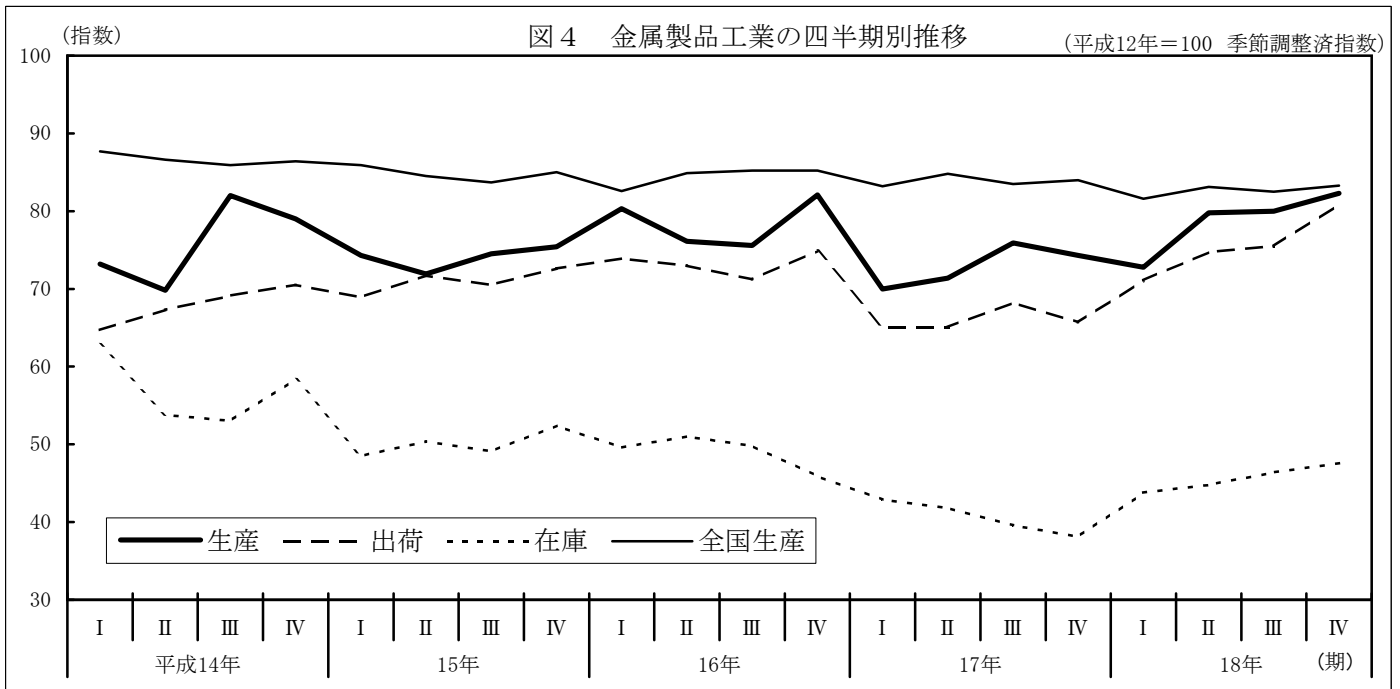
		17年		18年				上昇又は低下に寄与した品目	
		I	II	III	IV	増	減		
生産	指数	107.1	109.2	104.1	106.4	113.8	111.7	増	普通鋼鋼帯、鋼半製品、特殊鋼熱間圧延鋼材など
	対前年(期)増減率%	△0.3	2.0	2.7	2.2	7.0	△1.8	減	鉄系鍛工品、特殊鋼冷間仕上鋼材など
出荷	指数	108.3	108.2	103.2	103.9	111.1	113.0	増	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼鋼管など
	対前年(期)増減率%	△3.3	△0.1	2.9	0.7	6.9	1.7	減	鉄系鍛工品、特殊鋼冷間仕上鋼材、普通鋼冷間仕上鋼材など
在庫	指数	111.3	114.1	108.7	113.0	117.9	116.0	増	普通鋼鋼帯、特殊鋼鋼管、普通鋼鋼板など
	対前年(期)末増減率%	10.3	2.5	△4.6	4.0	4.3	△1.6	減	鋳鋼品、特殊鋼冷間仕上鋼材など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<金属製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、77.7で前年比7.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.0%低下、II期は同9.6%上昇、III期も同0.3%上昇、IV期も同2.9%上昇しました。

品目別にみると、ガス機器や飲料用アルミ缶などが増加し、橋りょうなどが減少しました。

また、全国の金属製品工業の生産指数(原指数)は、82.6で前年比1.2%低下し、6年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、75.0で前年比14.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.2%上昇、II期も同5.1%上昇、III期も同1.1%上昇、IV期も同7.2%上昇しました。

品目別にみると、ガス機器や飲料用アルミ缶などが増加し、橋りょうなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、45.7で前年末比20.9%上昇し、10年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比15.0%上昇、II期も同2.3%上昇、III期も同3.6%上昇、IV期も同2.6%上昇しました。

品目別にみると、ガス機器や一般缶などが増加し、超硬チップなどが減少しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

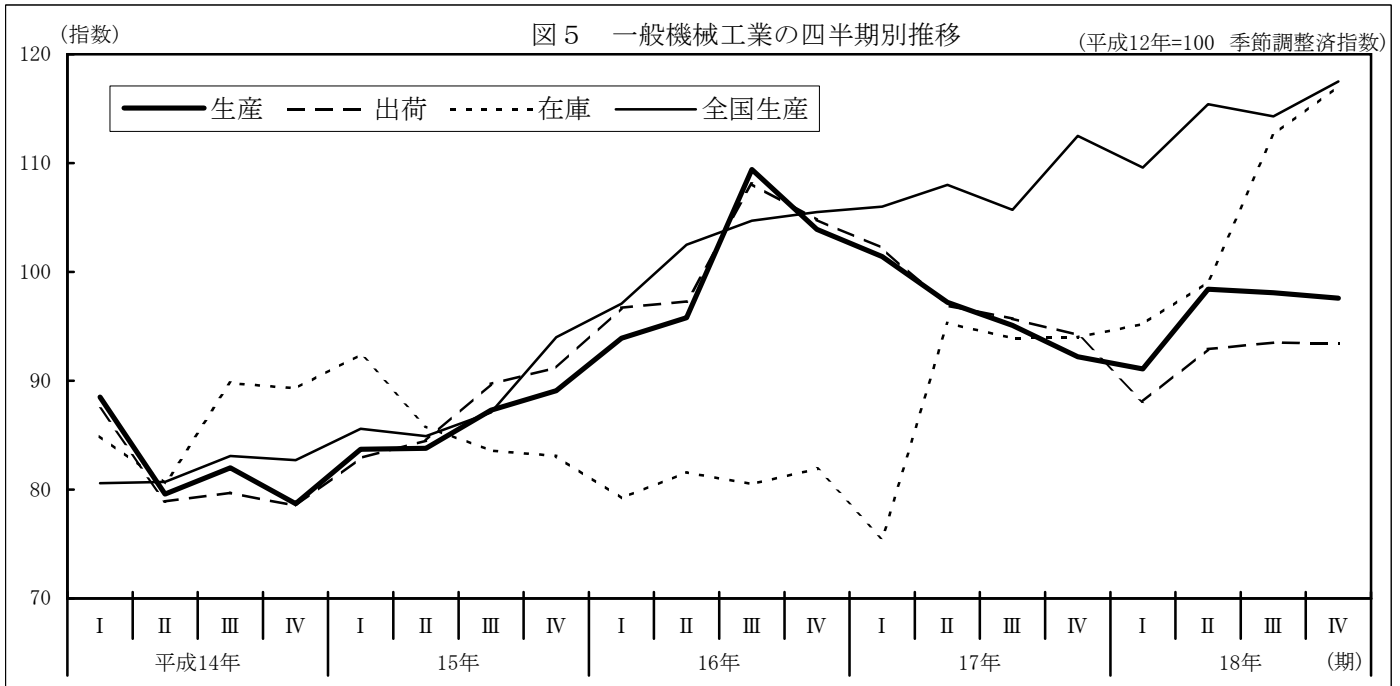
		17年		18年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	72.5	77.7	72.8	79.8	80.0	82.3	増	ガス機器、飲料用アルミ缶、ばねなど
	対前年(期)増減率%	△7.8	7.2	△2.0	9.6	0.3	2.9	減	橋りょう、バンディングロール成型鋼管など
出荷	指数	65.8	75.0	71.1	74.7	75.5	80.9	増	ガス機器、飲料用アルミ缶、ばねなど
	対前年(期)増減率%	△10.2	14.0	8.2	5.1	1.1	7.2	減	橋りょう、バンディングロール成型鋼管など
在庫	指数	37.8	45.7	43.8	44.8	46.4	47.6	増	ガス機器、一般缶、18リットル缶
	対前年(期)末増減率%	△16.2	20.9	15.0	2.3	3.6	2.6	減	超硬チップ、食缶など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<一般機械工業>

—生産、出荷とも2年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、95.8で前年比0.3%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.2%低下、II期は同8.0%上昇、III期は同0.3%低下、IV期も同0.5%低下しました。

品目別にみると、デジタル・カラー複写機や水管ボイラなどが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

また、全国の一般機械工業の生産指数(原指数)は、114.2で前年比6.0%上昇し、4年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、91.4で前年比5.9%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.5%低下、II期は同5.4%上昇、III期も同0.6%上昇、IV期は同0.1%低下しました。

品目別にみると、デジタル・カラー複写機や装軌式トラクタなどが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、122.4で前年末比24.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比1.3%上昇、II期も同4.1%上昇、III期も同13.6%上昇、IV期も同4.0%上昇しました。

品目別にみると、超硬工具や装軌式トラクタなどが増加し、圧縮機などが減少しました。

表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		17年		18年									
		指数	増減率%	I	II	III	IV						
生産	指数	96.1	△ 4.5	95.8	△ 0.3	91.1	△ 1.2	98.4	8.0	98.1	△ 0.3	97.6	△ 0.5
	対前年(期)増減率%												
出荷	指数	97.1	△ 4.4	91.4	△ 5.9	88.1	△ 6.5	92.9	5.4	93.5	0.6	93.4	△ 0.1
	対前年(期)増減率%												
在庫	指数	98.7	15.2	122.4	24.0	95.2	1.3	99.1	4.1	112.6	13.6	117.1	4.0
	対前年(期)末増減率%												

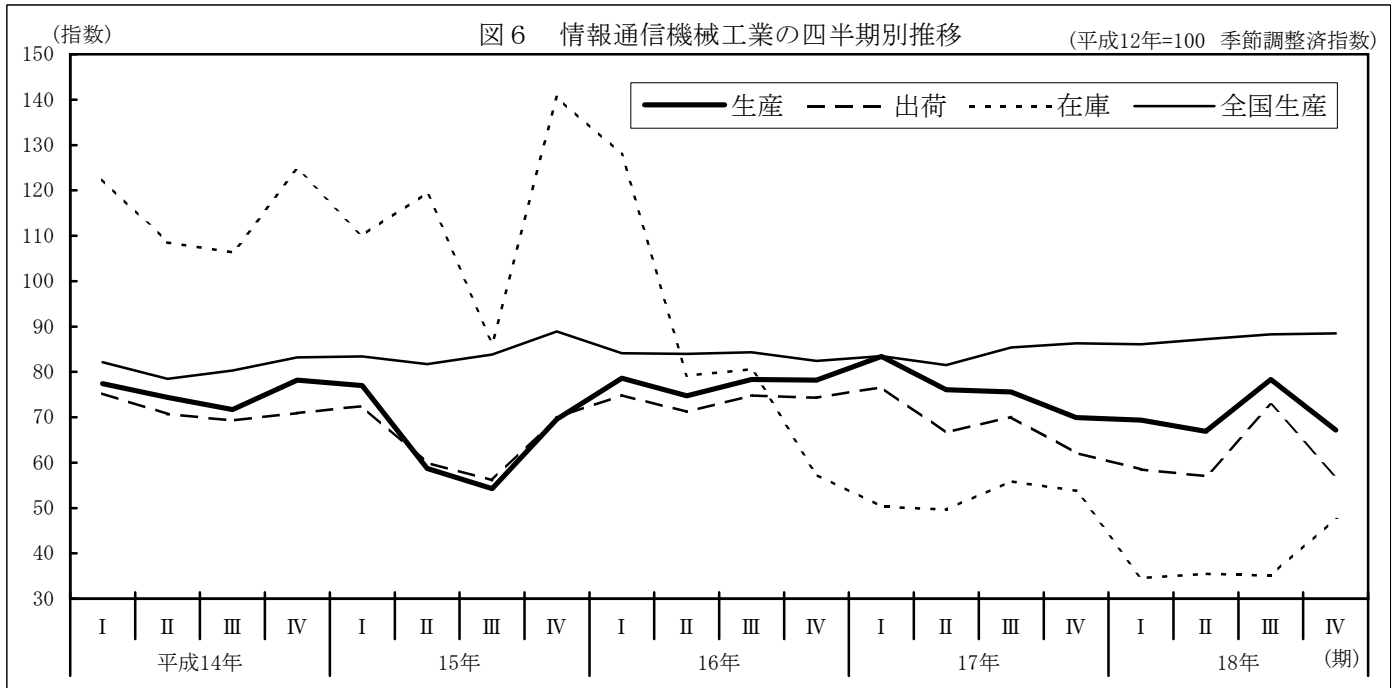
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、真空ポンプなど
	減	デジタル・カラー複写機、水管ボイラ、圧延機械など
出荷	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、超硬工具など
	減	デジタル・カラー複写機、装軌式トラクタ、圧延機械など
在庫	増	超硬工具、装軌式トラクタ、ポンプなど
	減	圧縮機、掘さく機械など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<情報通信機械工業>

—生産、出荷とも2年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、70.2で前年比6.0%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.7%低下、II期も同3.6%低下、III期は同17.0%上昇、IV期は同14.2%低下しました。

品目別にみると、パーソナルコンピュータや入出力装置などが減少し、はん用コンピュータなどが増加しました。

また、全国の情報通信機械工業の生産指数(原指数)は、87.6で前年比4.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、61.3で前年比9.3%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.9%低下、II期も同2.6%低下、III期は同27.5%上昇、IV期は同21.5%低下しました。

品目別にみると、パーソナルコンピュータや入出力装置などが減少し、はん用コンピュータなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、41.2で前年末比5.3%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比35.7%低下、II期は同2.6%上昇、III期は同1.1%低下、IV期は同36.2%上昇しました。

品目別にみると、ビデオカメラやビデオテープレコーダが減少し、液晶テレビなどが増加しました。

表 8 情報通信機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

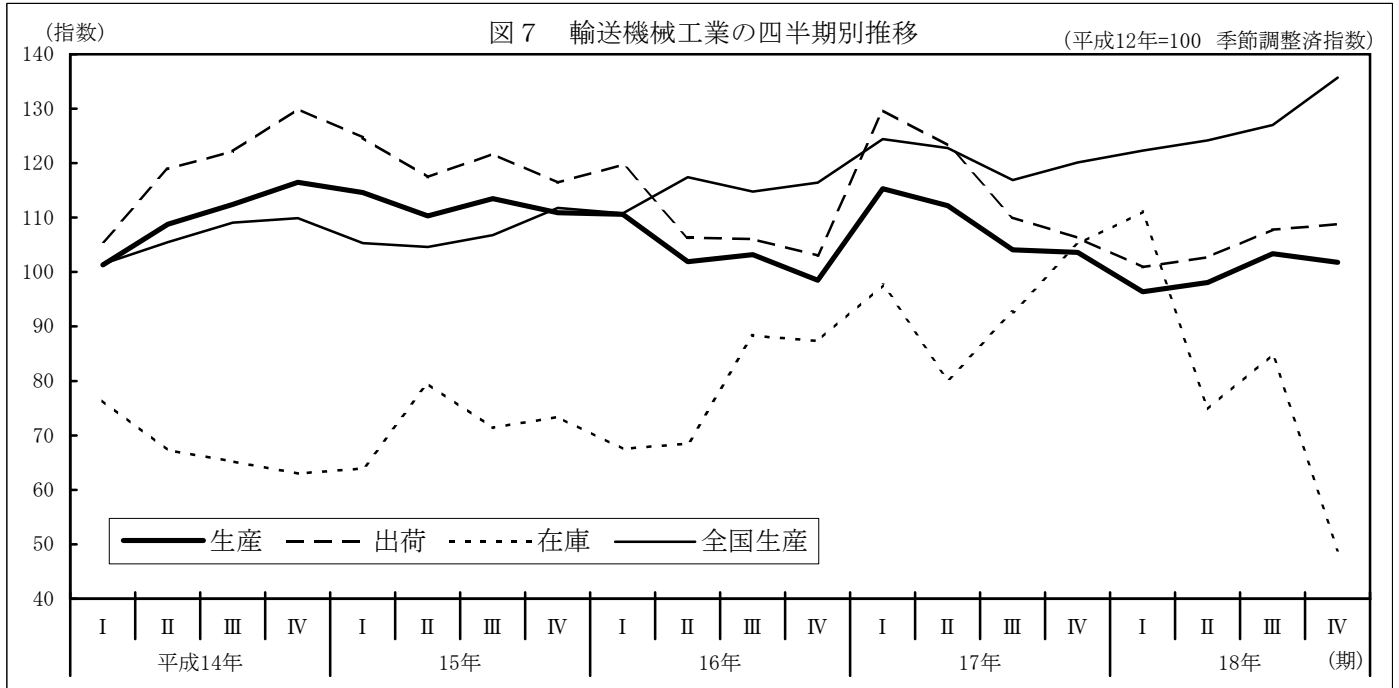
		17年		18年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	74.7		70.2	69.4	66.9	78.3	67.2	増 はん用コンピュータ、無線応用装置など 減 パーソナルコンピュータ、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど
	対前年(期)増減率%	△ 4.8	△ 6.0	△ 0.7	△ 3.6	17.0	△ 14.2		
出荷	指数	67.6		61.3	58.5	57.0	72.7	57.1	増 はん用コンピュータ、外部記憶装置など 減 パーソナルコンピュータ、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど
	対前年(期)増減率%	△ 9.1	△ 9.3	△ 5.9	△ 2.6	27.5	△ 21.5		
在庫	指数	43.5		41.2	34.6	35.5	35.1	47.8	増 液晶テレビ、コードレスホン 減 ビデオカメラ、ビデオテープレコーダ
	対前年(期)末増減率%	△ 9.2	△ 5.3	△ 35.7	2.6	△ 1.1	36.2		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<輸送機械工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、100.2で前年比7.5%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.9%低下、II期は同1.8%上昇、III期も同5.4%上昇、IV期は同1.5%低下しました。
 品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、普通トラックなどが増加しました。
 また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、127.3で前年比5.5%上昇し、5年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、105.3で前年比10.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.1%低下、II期は同1.8%上昇、III期も同5.0%上昇、IV期も同0.9%上昇しました。
 品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、普通トラックなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、61.0で前年末比52.0%低下し、4年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比5.7%上昇、II期は同32.7%低下、III期は同13.5%上昇、IV期は同42.4%低下しました。
 品目別にみると、普通トラックや小型トラックなどが減少し、自転車などが増加しました。

表9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

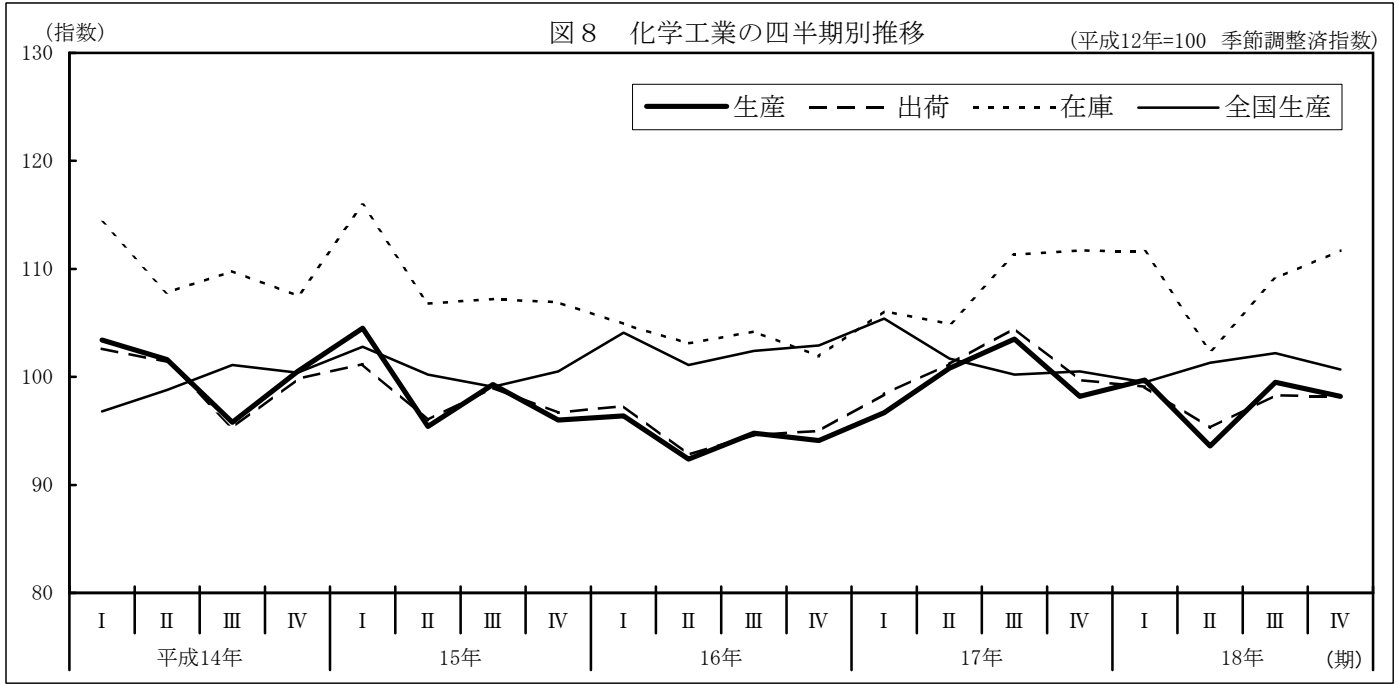
		17年		18年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	108.3	100.2	96.4	98.1	103.4	101.8	増 普通トラック、けん引車など 減 小型乗用車、普通乗用車、乗用車ボデーなど	
	対前年(期)増減率%	4.4	△ 7.5	△ 6.9	1.8	5.4	△ 1.5		
出荷	指数	117.1	105.3	100.9	102.7	107.8	108.8	増 普通トラック、けん引車など 減 小型乗用車、普通乗用車、乗用車ボデーなど	
	対前年(期)増減率%	7.5	△ 10.1	△ 5.1	1.8	5.0	0.9		
在庫	指数	127.2	61.0	111.1	74.8	84.9	48.9	増 自転車、小型乗用車など 減 普通トラック、小型トラック、大型バスなど	
	対前年(期)末増減率%	25.7	△ 52.0	5.7	△ 32.7	13.5	△ 42.4		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、97.9で前年比1.5%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.5%上昇、II期は同6.1%低下、III期は同6.3%上昇、IV期は同1.3%低下しました。
 品目別にみると、化粧品やカラーロールフィルムなどが減少し、医薬品などが増加しました。
 また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、100.9で前年比0.8%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、97.8で前年比2.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.6%低下、II期も同3.8%低下、III期は同3.1%上昇、IV期は同0.1%低下しました。
 品目別にみると、カラーロールフィルムやエチレングリコールエーテルなどが減少し、医薬品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、106.4で前年末比1.3%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.1%低下、II期も同8.2%低下、III期は同6.5%上昇、IV期も同2.4%上昇しました。
 品目別にみると、カラーロールフィルムやポリプロピレングリコールなどが増加し、カラー印画紙などが減少しました。

表 1 0 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

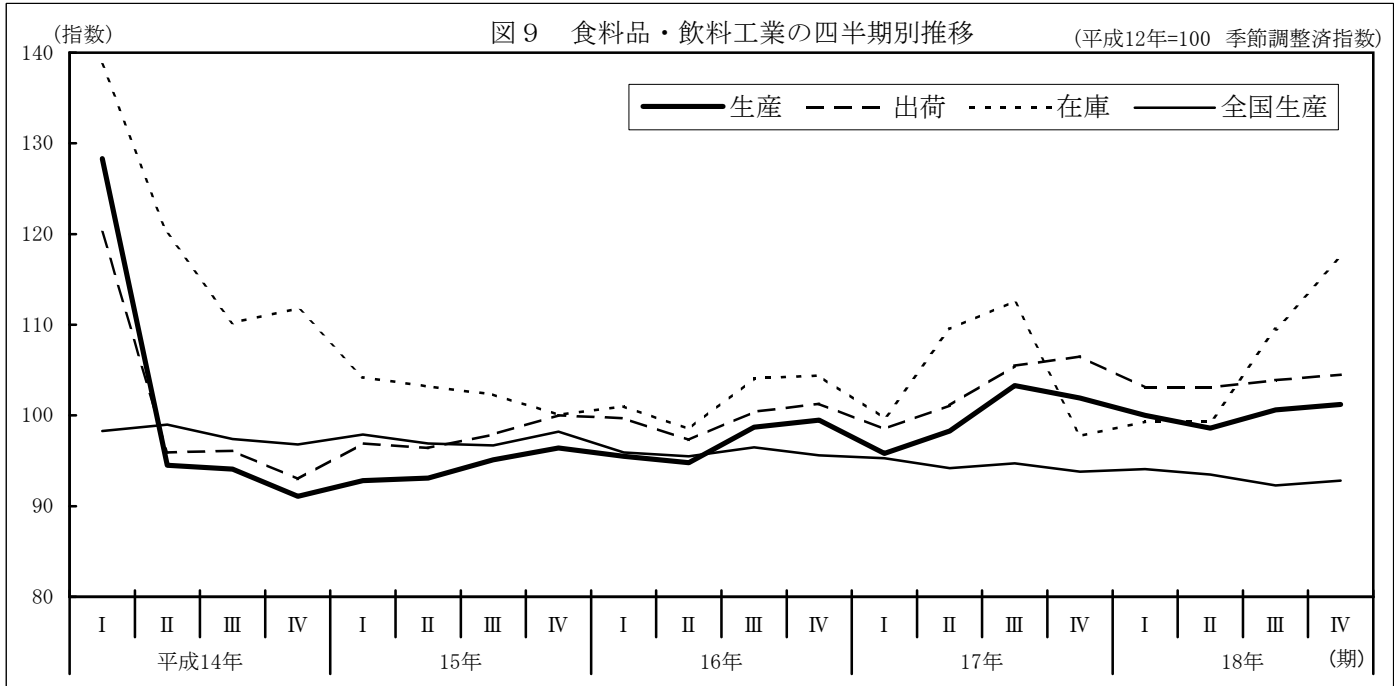
		17年	18年	I	II	III	IV
生産	指数	99.4	97.9	99.7	93.6	99.5	98.2
	対前年(期)増減率%	5.3	△ 1.5	1.5	△ 6.1	6.3	△ 1.3
出荷	指数	100.6	97.8	99.1	95.3	98.3	98.2
	対前年(期)増減率%	6.0	△ 2.8	△ 0.6	△ 3.8	3.1	△ 0.1
在庫	指数	105.0	106.4	111.6	102.4	109.1	111.7
	対前年(期)末増減率%	8.9	1.3	△ 0.1	△ 8.2	6.5	2.4

上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	医薬品、身体洗浄剤など
	減	化粧品、カラーロールフィルム、エチレングリコールなど
出荷	増	医薬品、身体洗浄剤など
	減	カラーロールフィルム、エチレングリコールエーテル、化粧品など
在庫	増	カラーロールフィルム、ポリプロピレングリコール、界面活性剤など
	減	カラー印画紙、ポリエチレンなど

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数
 *品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産は3年ぶりの低下、出荷は3年連続の上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、99.8で前年比0.2%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.9%低下、II期も同1.4%低下、III期は同2.0%上昇、IV期も同0.6%上昇しました。

品目別にみると、焼酎や清涼飲料(炭酸飲料除く)などが減少し、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが増加しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、93.1で前年比1.3%低下し、6年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、103.4で前年比0.3%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.2%低下、II期は同0.0%で横ばい、III期は同0.8%上昇、IV期も同0.6%上昇しました。

品目別にみると、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)や炭酸飲料などが増加し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、104.2で前年末比21.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比1.6%上昇、II期は同0.0%で横ばい、III期は同10.3%上昇、IV期も同7.2%上昇しました。

品目別にみると、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)やビスケット類などが増加し、チョコレートなどが減少しました。

表1-1 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		17年	18年	18年			
				I	II	III	IV
生産	指数	100.0	99.8	100.0	98.6	100.6	101.2
	対前年(期)増減率%	3.0	△0.2	△1.9	△1.4	2.0	0.6
出荷	指数	103.1	103.4	103.1	103.1	103.9	104.5
	対前年(期)増減率%	3.6	0.3	△3.2	0.0	0.8	0.6
在庫	指数	86.1	104.2	99.3	99.3	109.5	117.4
	対前年(期)末増減率%	△7.6	21.0	1.6	0.0	10.3	7.2

上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、生めん類など
	減	焼酎、清涼飲料(炭酸飲料除く)、チーズなど
出荷	増	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、炭酸飲料、牛乳など
	減	清涼飲料(炭酸飲料除く)、焼酎など
在庫	増	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、ビスケット類、あめ菓子など
	減	チョコレート、炭酸飲料など

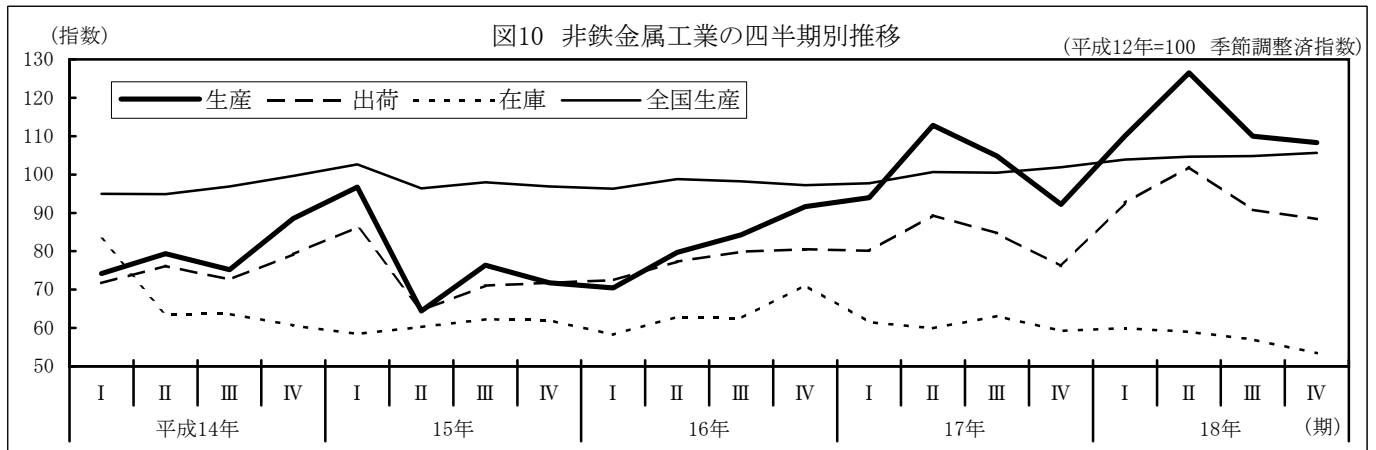
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<非鉄金属工業>

—生産、出荷とも3年連続の上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、113.8で前年比13.2%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや伸銅製品などが増加し、銅電線などが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、104.7で前年比4.8%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

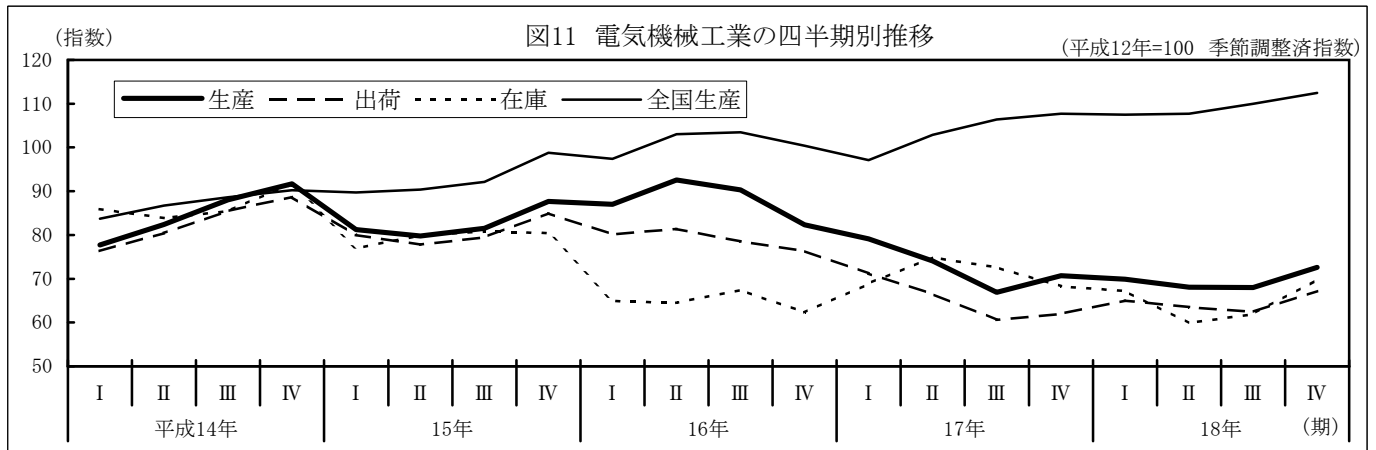
出荷指数(原指数)は、93.5で前年比13.6%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや伸銅製品などが増加し、軽合金鋳物が減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、57.9で前年末比9.5%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、伸銅製品や銅電線が減少し、通信用電線・ケーブルなどが増加しました。

<電気機械工業>

—生産は2年連続の低下、出荷は6年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、69.7で前年比3.6%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、電気掃除機や電気測定器などが減少し、自動車用白熱灯器具などが増加しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、109.4で前年比6.2%上昇し、4年連続して上昇しました。

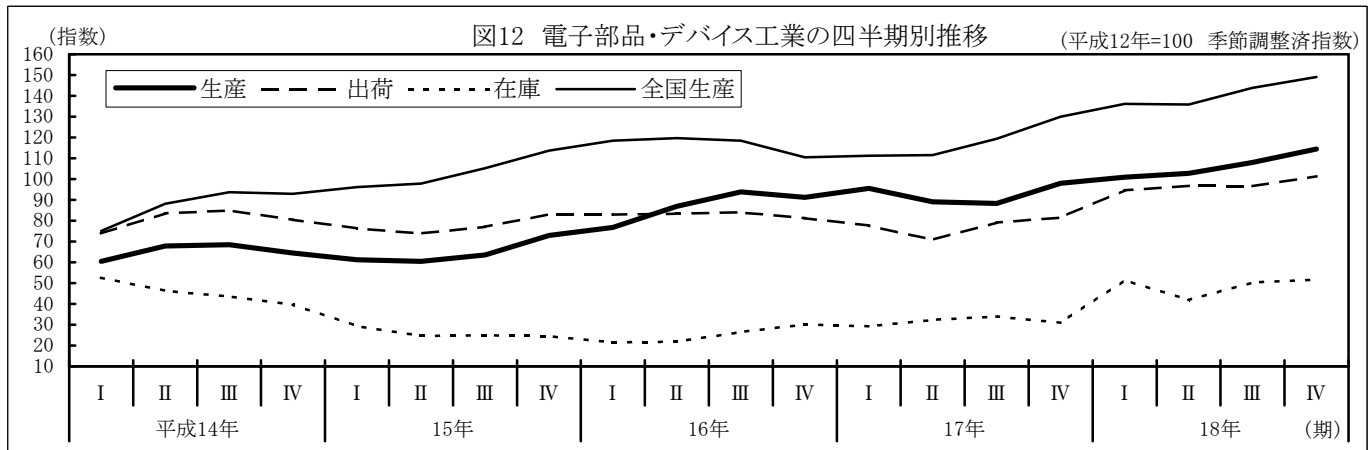
<出荷>

出荷指数(原指数)は、64.5で前年比0.2%低下し、6年連続して低下しました。
品目別にみると、電気測定器や交流電動機などが減少し、自動車用白熱灯器具などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、70.7で前年末比1.9%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、自動車用白熱灯器具や蛍光灯器具などが増加し、アルカリ蓄電池などが減少しました。

＜電子部品・デバイス工業＞－生産は3年連続の上昇、出荷は2年ぶりの上昇－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、106.6で前年比15.4%上昇し、3年連続して上昇しました。
 品目別にみると、コネクタやモス型半導体集積回路(論理素子)などが増加し、磁気テープなどが減少しました。
 また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、141.3で前年比19.9%上昇し、5年連続して上昇しました。

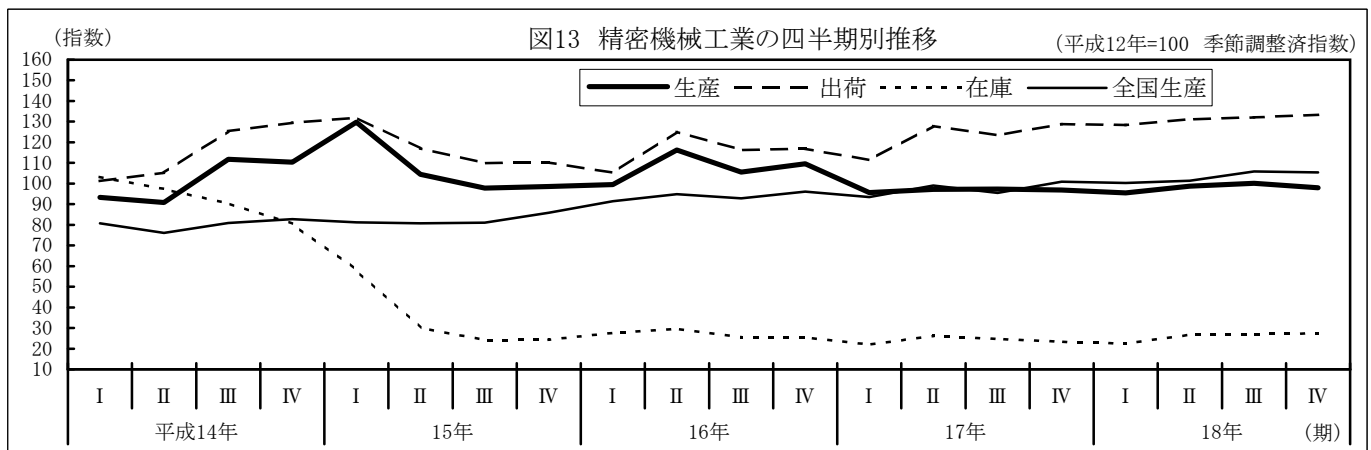
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、97.3で前年比26.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)やコネクタなどが増加し、磁気テープなどが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、51.6で前年末比68.6%上昇し、3年連続して上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)やモス型半導体集積回路(CCD)などが増加し、光電変換素子などが減少しました。

＜精密機械工業＞ －生産は3年ぶりの上昇、出荷は2年連続の上昇－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、98.3で前年比2.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、積算体積計や精密測定機などが増加し、測量機器などが減少しました。
 また、全国の精密機械工業の生産指数(同)は、103.3で前年比6.6%上昇し、4年連続して上昇しました。

＜出荷＞

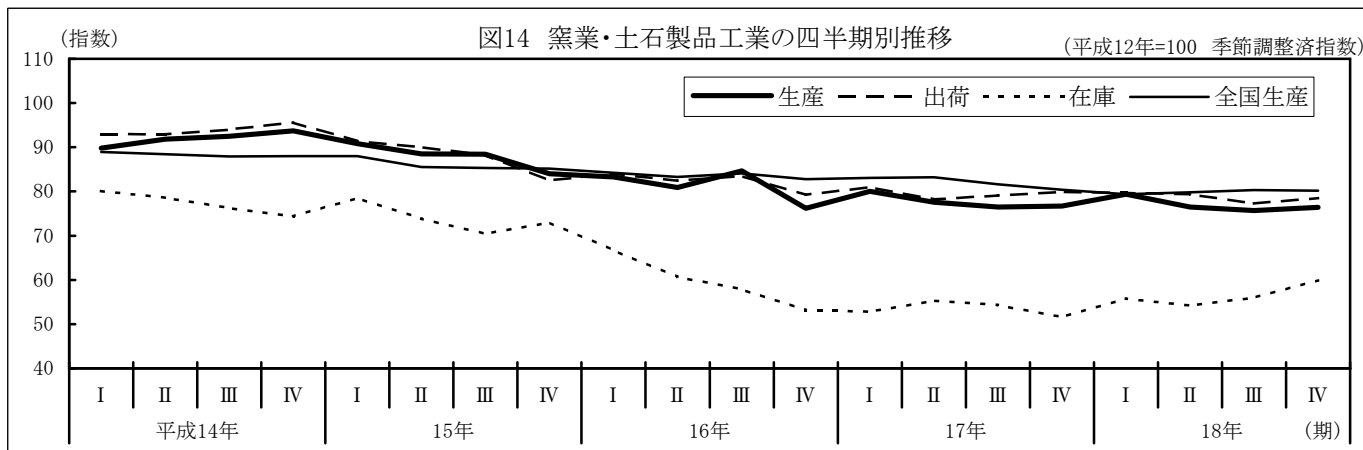
出荷指数(原指数)は、131.7で前年比8.4%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、測量機器や積算体積計などが増加し、試験機などが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、29.1で前年末比16.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、精密測定機や試験機などが増加し、測量機器などが減少しました。

<窯業・土石製品工業>

－生産、出荷とも6年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、77.0で前年比0.6%低下し、6年連続して低下しました。
 品目別にみると、複層ガラスやガラス基礎製品などが減少し、安全ガラスなどが増加しました。
 また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、80.0で前年比2.3%低下し、6年連続して低下しました。

<出荷>

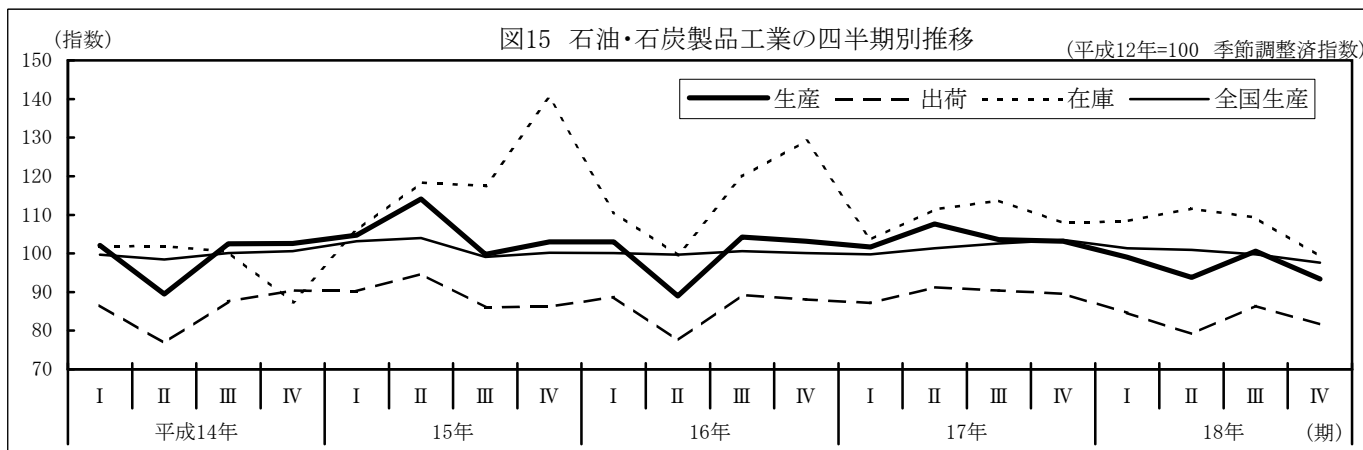
出荷指数(原指数)は、78.7で前年比0.6%低下し、6年連続して低下しました。
 品目別にみると、複層ガラスやガラス基礎製品などが減少し、安全ガラスなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、57.4で前年末比13.7%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、ガラス製容器類や安全ガラスなどが増加し、ガラス短繊維製品などが減少しました。

<石油・石炭製品工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、96.9で前年比6.6%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、ガソリンやA重油などが減少し、アスファルトなどが増加しました。
 また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、99.9で前年比1.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

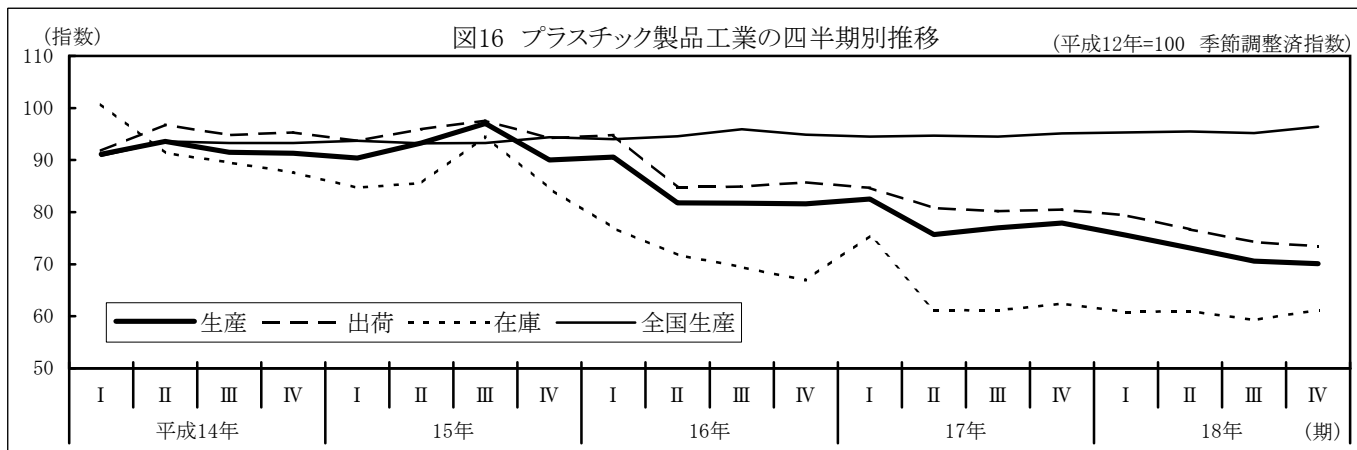
<出荷>

出荷指数(原指数)は、83.1で前年比6.9%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、ガソリンやA重油などが減少し、潤滑油などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、102.3で前年末比4.1%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、ガソリンや灯油などが減少し、C重油などが増加しました。

<プラスチック製品工業> -生産、出荷とも3年連続の低下-



<生産>

生産指数(原指数)は、72.5で前年比6.9%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、発泡プラスチック製品やプラスチック製板などが減少し、プラスチック製機械器具部品が増加しました。
 また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、95.7で前年比1.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

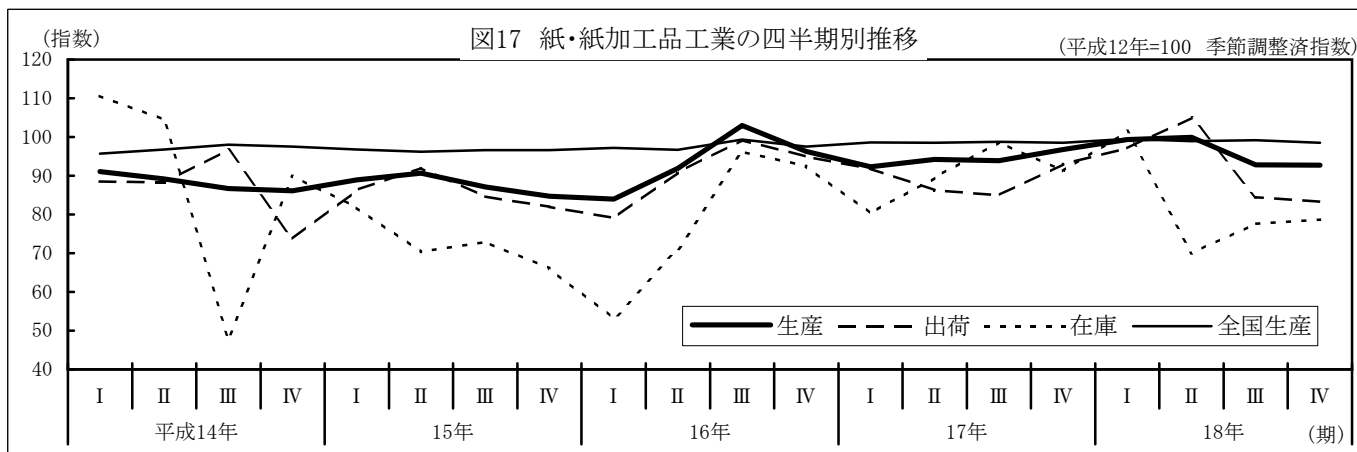
<出荷>

出荷指数(原指数)は、76.1で前年比6.3%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製板や発泡プラスチック製品などが減少し、プラスチック製機械器具部品が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、60.5で前年末比1.3%低下し、6年連続して低下しました。
 品目別にみると、発泡プラスチック製品や強化プラスチック製品などが減少し、プラスチック製フィルム・シートなどが増加しました。

<紙・紙加工品工業> -生産は3年連続の上昇、出荷は2年ぶりの上昇-



<生産>

生産指数(原指数)は、96.0で前年比2.0%上昇し、3年連続して上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが増加しました。
 また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、99.0で前年比0.6%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

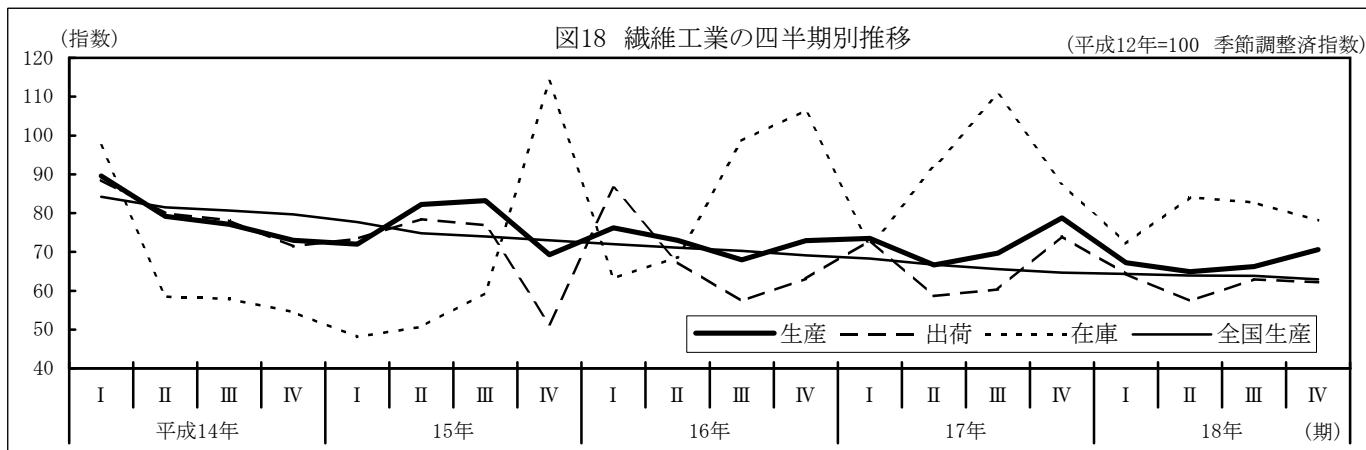
出荷指数(原指数)は、92.0で前年比3.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、70.5で前年末比14.0%低下し、3年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、衛生用紙が減少し、段ボールシートが増加しました。

<繊維工業>

－生産は7年連続の低下、出荷は10年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、67.3で前年比6.4%低下し、7年連続して低下しました。
 品目別にみると、ニット・織物製外衣やふとんなどが減少し、合成繊維が増加しました。
 また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、63.7で前年比3.8%低下し、平成元年以降18年連続して低下しました。

<出荷>

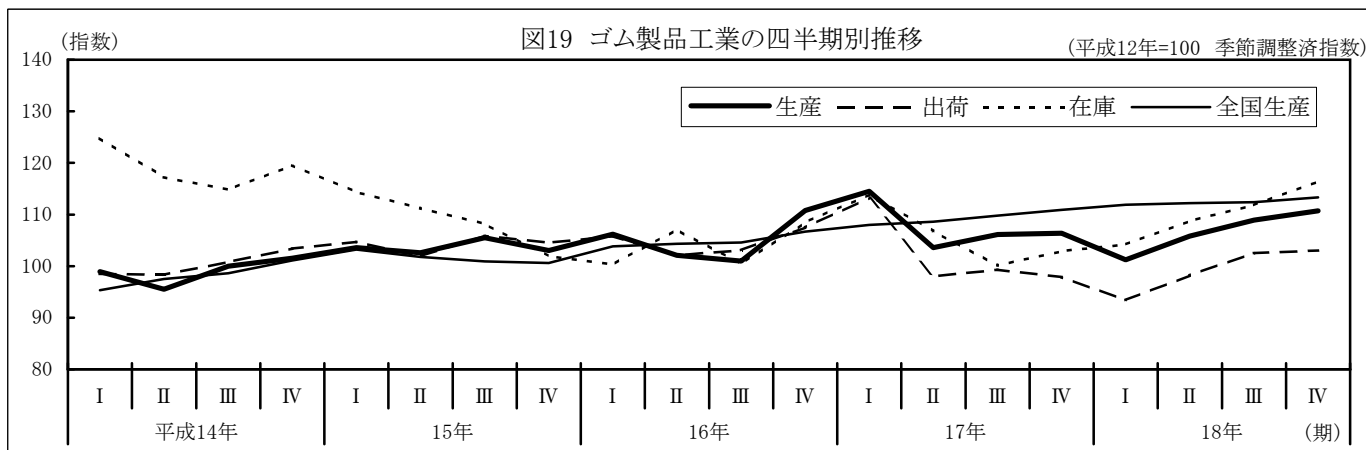
出荷指数(原指数)は、61.6で前年比7.2%低下し、10年連続して低下しました。
 品目別にみると、ニット・織物製外衣やふとんなどが減少し、合成繊維などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、109.5で前年末比6.1%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、ニット・織物製外衣や合成繊維が減少し、ふとんが増加しました。

<ゴム製品工業>

－生産は4年ぶりの低下、出荷は2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、106.6で前年比0.8%低下し、4年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、ゴムホースや医療・衛生用ゴム製品が減少し、ゴムベルトなどが増加しました。
 また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、112.4で前年比2.9%上昇し、5年連続して上昇しました。

<出荷>

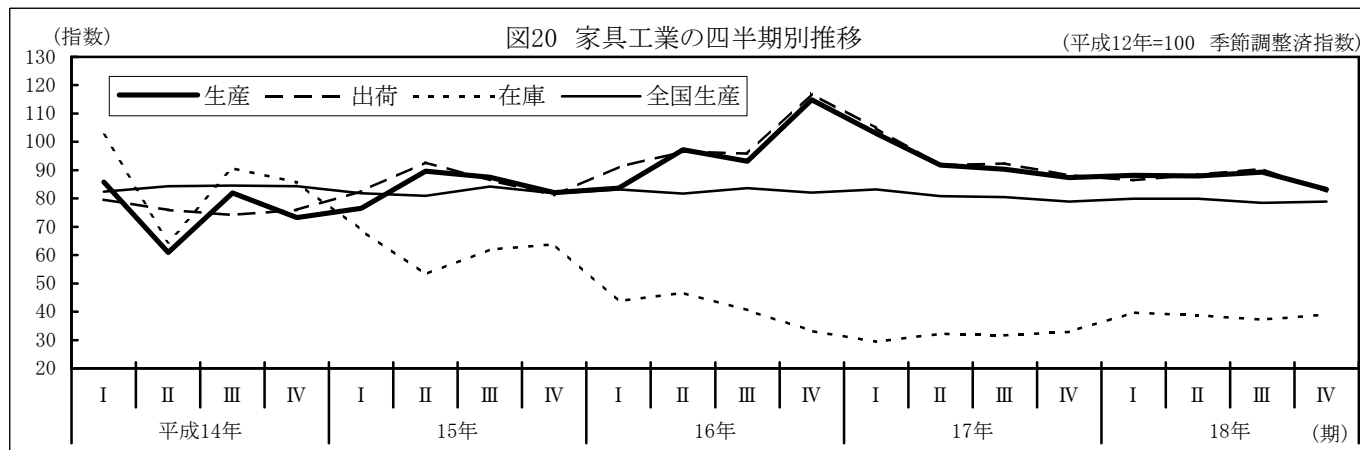
出荷指数(原指数)は、99.1で前年比2.9%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、ゴムホースや工業用ゴム製品などが減少し、ゴムベルトが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、113.3で前年末比13.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、工業用ゴム製品やゴムホースが増加し、医療・衛生用ゴム製品などが減少しました。

<家具工業>

—生産、出荷とも2年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、86.7で前年比7.3%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、システムキッチンや金属製引出箱などが減少し、金属製机などが増加しました。
 また、全国の家具工業の生産指数(同)は、79.4で前年比1.5%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、86.8で前年比7.9%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、システムキッチンや金属製引出箱などが減少し、金属製机が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、42.4で前年末比17.8%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、その他の金属製家具や金属製間仕切りなどが増加し、金属製棚・保管庫類が減少しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財は2年連続して低下、生産財は5年連続して上昇 ー

平成18年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、85.3で前年比5.8%低下し、2年連続して低下しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、99.0で前年比1.9%上昇し、5年連続して上昇しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財はⅠ期は前期比3.6%低下、Ⅱ期は同2.3%上昇、Ⅲ期も同5.5%上昇、Ⅳ期は同3.2%低下しました。生産財はⅠ期は前期比1.5%低下、Ⅱ期は同0.9%上昇、Ⅲ期も同0.1%上昇、Ⅳ期も同3.4%上昇しました。

（1）最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、86.2で前年比3.8%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、デジタル・カラー複写機やパーソナルコンピュータなどが減少し、普通トラックなどが増加しました。

建設財出荷指数（原指数）は、66.5で前年比5.5%低下し、9年連続して低下しました。

品目別にみると、橋りょうやプラスチック製板などが減少し、蛍光灯器具などが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数（原指数）は、71.5で前年比18.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、ガス機器などが増加しました。

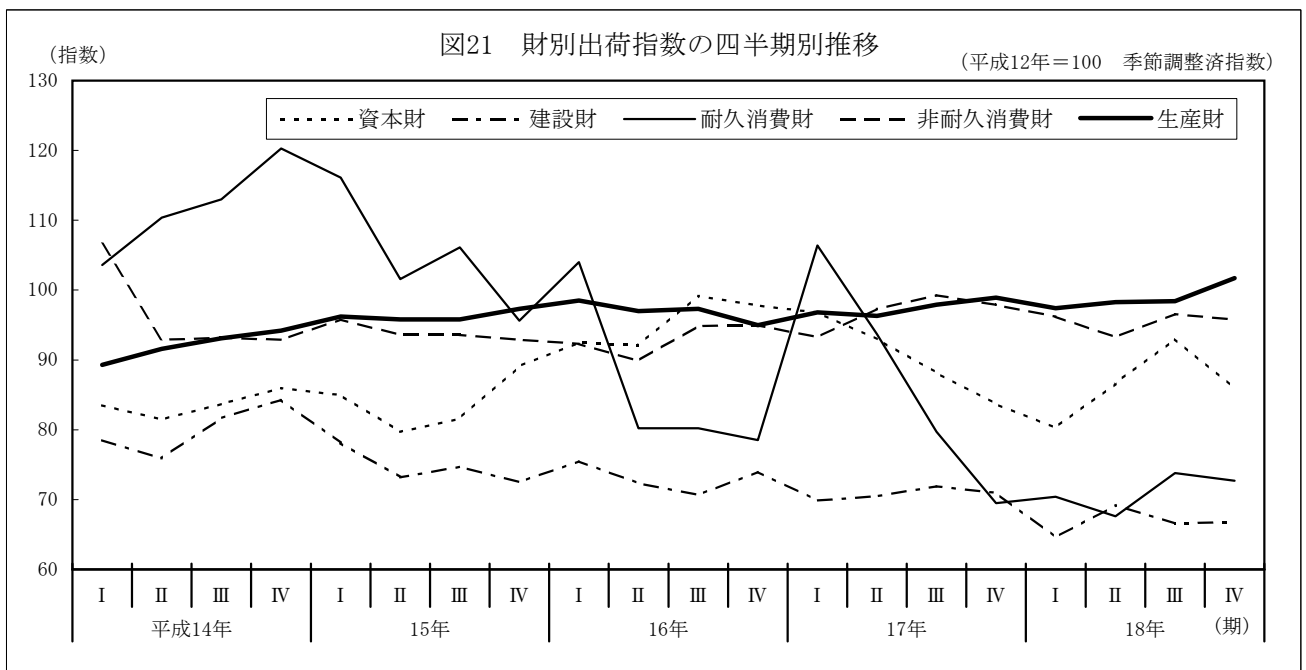
非耐久消費財出荷指数（原指数）は、95.5で前年比1.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ガソリンやカラーロールフィルムなどが減少し、医薬品などが増加しました。

（2）生産財

品目別にみると、モス型半導体集積回路（論理素子）やコネクタなどが増加し、乗用車ボデーなどが減少しました。

（P21表12、表13参照）



（特殊分類についてはP85、P87表14参照）

表 1 2

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成12年=100)

財	年・期	15年	16年	17年	18年	18年				
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	92.6	93.3	93.0	90.0	90.0	87.3	88.9	91.9	91.3
	対前年(期)増減率%	△ 0.1	0.8	△ 0.3	△ 3.2	△ 2.1	△ 3.0	1.8	3.4	△ 0.7
最終需要財	指数	90.8	91.6	90.6	85.3	85.2	82.1	84.0	88.6	85.8
	対前年(期)増減率%	△ 2.5	0.9	△ 1.1	△ 5.8	△ 4.1	△ 3.6	2.3	5.5	△ 3.2
投資財	指数	82.9	93.1	87.6	84.1	82.3	78.4	84.6	90.2	84.4
	対前年(期)増減率%	△ 0.2	12.3	△ 5.9	△ 4.0	△ 4.9	△ 4.7	7.9	6.6	△ 6.4
資本財	指数	83.9	95.4	89.6	86.2	83.7	80.3	86.6	93.0	85.9
	対前年(期)増減率%	0.4	13.7	△ 6.1	△ 3.8	△ 5.1	△ 4.1	7.8	7.4	△ 7.6
建設財	指数	74.3	73.4	70.4	66.5	71.0	64.6	69.2	66.6	66.8
	対前年(期)増減率%	△ 6.5	△ 1.2	△ 4.1	△ 5.5	△ 1.3	△ 9.0	7.1	△ 3.8	0.3
消費財	指数	98.1	90.3	93.3	86.3	88.3	85.0	84.2	87.5	87.8
	対前年(期)増減率%	△ 4.1	△ 8.0	3.3	△ 7.5	△ 3.1	△ 3.7	△ 0.9	3.9	0.3
耐久消費財	指数	104.9	86.0	87.6	71.5	69.5	70.4	67.6	73.8	72.7
	対前年(期)増減率%	△ 6.3	△ 18.0	1.9	△ 18.4	△ 12.8	1.3	△ 4.0	9.2	△ 1.5
非耐久消費財	指数	93.9	93.1	96.9	95.5	97.9	96.2	93.3	96.6	95.8
	対前年(期)増減率%	△ 2.5	△ 0.9	4.1	△ 1.4	△ 1.4	△ 1.7	△ 3.0	3.5	△ 0.8
生産財	指数	96.3	96.9	97.2	99.0	98.9	97.4	98.3	98.4	101.7
	対前年(期)増減率%	4.7	0.6	0.3	1.9	1.0	△ 1.5	0.9	0.1	3.4

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 1 3

財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主な品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	生産財	1.9	0.66	増	モス型半導体集積回路(論理素子)、コネクタ、超硬工具など
				減	乗用車ボデー、特装ボデーなど
低	耐久消費財	△ 18.4	△ 2.27	増	ガス機器、蛍光灯器具など
				減	小型乗用車、普通乗用車、パーソナルコンピュータなど
下	資本財	△ 3.8	△ 1.03	増	普通トラック、はん用コンピュータなど
				減	デジタル・カラー複写機、パーソナルコンピュータ、入出力装置など
下	非耐久消費財	△ 1.4	△ 0.32	増	医薬品、衛星用紙など
				減	ガソリン、カラーロールフィルム、化粧品など
下	建設財	△ 5.5	△ 0.14	増	蛍光灯器具、生コンクリートなど
				減	橋りょう、プラスチック製板、複層ガラスなど